

2013年12月18日

住友生命保険相互会社

<第24回>

2013年の世相を反映した

『創作四字熟語』50編

住友生命保険相互会社（社長 佐藤義雄）は、2013年の世相を的確に表現した『創作四字熟語』を広く一般から募集しました。

この企画が生まれたのは、今から23年前。1年の出来事を漢字四文字で振り返るという、いわば『ことばの遊び』を提唱したところ、多くの人々の共感を呼び、“その年に感じたことを漢字に託す”という全く新しい概念が誕生しました。

24回目を迎える今回は、全国から7,419作品が寄せられました。

以下は、ご応募いただいた作品についての集計と審査結果です。

〔募集概要〕

- 募集期間 2013年9月25日～11月6日
- 有効作品数 7,419作品
- 募集地域 全国（47都道府県）
- 募集方法 ハガキ、当社規定の応募用紙、インターネットによる応募。
記入事項は、未発表の作品およびその読み方、元のことばと簡単な説明。
- 審査員 俵 万智 氏（歌人）
- 作品応募者の内訳（複数回答）

全 体	男性	女性	不明	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
7,419	5,455	1,958	6	211	634	1,040	1,470	1,781	1,801	443	19	20
100.0	73.5	26.4	0.1	2.8	8.5	14.0	19.8	24.0	24.3	6.0	0.3	0.3

上段＝作品数、下段＝構成比（％）

〔作品傾向〕

- 応募作品の内容（ジャンル別）
 - 1) 政 治 (ねじれ国会解消、ネット選挙解禁、税制改正など) 876作品(11.8%)
 - 2) 経 済 (金融緩和策、株価上昇、TPP交渉など) 493作品(6.6%)
 - 3) 社 会 (異常気象、食材偽装、伊勢神宮・出雲大社の遷宮など) 2,392作品(32.2%)
 - 4) 国際情勢 (英・ロイヤルベビー誕生、大気汚染、ロシア隕石落下など) 490作品(6.6%)
 - 5) 文化・スポーツ (富士山世界遺産登録、五輪招致、野球、ベストセラーなど) 2,157作品(29.1%)
 - 6) 流行・芸能 (人気ドラマ、流行語、ゆるキャラ、ヒット商品など) 1,011作品(13.6%)

〔今年の傾向〕

“アベノミクス”で景気上昇、“ねじれ国会”が解消に

東京・築地の初競りで、「**億円超魚**」が高値で競り落とされるなど、景気良くスタートした2013年。安倍首相が放つ「**三矢晋明**」と日銀の「**緩金総裁**」によるデフレ脱却策で、個人投資家は「**何時答今**」とばかりに「**投資満満**」になり、「**騰昇株価**」で景気回復ムードが高まりました。

その後も安倍政権は、「**関税超枠**」(TPP)交渉への参加や、社会保障と税を一元管理する「**白番成備**」の“マイナンバー法”を成立。そして、7月の参院選では3年ぶりに衆参両院が「**選挙解捻**」となり、さらに政策に弾みをつけていきました。

万能化するネット社会の光と影、暴かれたスパイ活動

選挙運動の「**選網解開**」や、一般用医薬品の「**電子薬販**」など、インターネットが社会に果たす役割はますます大きくなっています。スマートフォン(高性能携帯電話)市場はさらに拡大し、iPhone導入の「**何処参戦**」は携帯電話各社の販売動向に注目を集めました。

スマホとともに急速に普及したのがソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)で、次世代コミュニケーションの魅力に多くの方が夢中になっています。しかし、アルバイト店員による「**凍庫写寝**」や、ネット依存症患者の増加、“歩きスマホ”による事故などが問題に…。ユーザーである私たちは、モラルを守り、この便利なツールと上手に付き合っていきたいものです。

“電話”といえど、アメリカ情報機関による「**衆電監視**」が国際社会に波紋をひろげました。友好国・同盟国をも対象にした情報収集活動に、欧州やアジア諸国は不信感を募らせています。

ロイヤルベビー誕生、多様なヒット商品

イギリスのロイヤルベビー、ジョージ王子誕生には世界中が「**英子世酔**」し、育児休暇の取得やオムツ交換など、ウィリアム王子のイクメンぶりも大いに話題になりました。

ジョージ王子に魅了されつつも、やはり一番かわいいのはわが子、わが孫でしょうか?“アン”いっぱいヒーロー、「**顔面食博**」に夢中になる無邪気な孫の姿に、おじいちゃん・おばあちゃんの財布の口が開いてしまうのも納得です。1,500万円までの教育資金贈与非課税制度の開始を受けて、「**資支援孫**」の信託商品に人気が集まりました。

ヒット商品はそれだけではありません。村上春樹さんの3年ぶりの新刊は「**春樹多売**」、アニ

メ映画では『風立ちぬ』が大ヒットし、引退表明した宮崎駿監督は「**優駿ノ美**」を飾りました。

「フライ大好き！でも健康は気になる・・・」。そんな方に朗報です！「**油断最適**」の揚げ物調理器が登場し、健康志向の消費者に飛ぶように売れました。

“記録的な” 猛暑・大雨、飛来物への不安

今夏の日本列島は異常気象に見舞われました。記録的猛暑で、高知県の「**四一度川**」では「**最高知温**」を観測、各地で「**危雨増大**」や「**風竜渦惨**」が発生するなど、自然の猛威を前に成す術もありません。異常気象は世界各地で見られ、その原因として地球温暖化が挙げられています。そんな中、お隣の中国では深刻な大気汚染で「**景色朦朧**」状態に・・・。日本にも黄砂やPM2.5が飛来し、大流行した「**風疹来甚**」とともに健康面の不安を煽られました。

一方、ロシアでは空中で「**落下露石**」が爆発。被害の大きさと落下時の衝撃はすさまじく、世界中を震撼させました。

社会現象になったTVドラマ、人が集い地方もパワーアップ

もはや「じえじえじえ」は標準語になっているかも？北三陸が舞台の「**じいじい**」は、毎朝お茶の間を元気にしてくれました。また、サラリーマンから羨望の眼差しを集めたのが『半沢直樹』で、理不尽な組織に「**倍倍繁盛**」と立ち向かう姿は共感を呼び、視聴率はうなぎのぼりに。彼の手にかかれば、社会問題化している「**黒影企業**」は一体何倍の制裁を受けるのでしょうか？

“アマノミクス”効果で盛り上がる岩手ですが、他の地方も負けてはいません。大阪では大型複合施設のオープンで「**阪客万来**」になり、伊勢神宮と出雲大社は揃っての「**移神殿新**」で多くの参拝客が訪れています。さらに西の九州では、贅をつくした豪華寝台列車が「**七星発進**」。1泊15万円なんてもったいなくて寝るのも惜しい！ですが、来年の6月分まで既に完売というから驚きです。鹿児島では、新型ロケット『イプシロン』の打ち上げに見学者が殺到。一度は「**発射懊悩**」とやきもきしましたが、轟音とともに飛び立つ姿に歓声があがりました。

今年もご当地キャラが活躍し、『ふなっしー』や『くまモン』は大きな「**梨熊効果**」をもたらしています。しかし、キャラクターの増殖で競争は激化している様子・・・。“ゆるキャラ”も“ゆるくない”現実を生きているようです。

巧みな話術に拍手、「お・も・て・な・し」の心は何処？

今年はプレゼンテーション力、なかでも話術に魅せられました。

サッカー日本代表がワールドカップ出場を決めた夜、渋谷のスクランブル交差点は異様な熱気に…。そこに現れたのが「**声務警察**」です。「皆さんは日本代表の12番目の選手。チームワークをお願いします。」と語りかけ、興奮したサポーターを安全に誘導しました。

五輪開催を引き寄せた名スピーチにも注目です。中でも、「お・も・て・な・し」という言葉が人々の心に刻まれました。そんな矢先、国内のホテルやレストランでは「**何食之店**」・「**似せ海老**」騒動で大混乱。一刻も早い解決と、世界に誇る“おもてなし”の確立を望みます。

やった！つかんだ！東京五輪、百花繚乱のスポーツ界

今年最大のニュースは、なんとといっても悲願の「**見事東選**」でしょう！56年ぶり2度目の五輪開催を決め、日本は歓喜に沸きました。

2020年の開催を「**七年特策**」しながら、注目すべきは若きアスリートです。陸上界では「**超速高生**」の桐生祥秀選手が100m10秒01をマークし、体操界でも高校生の白井健三選手が「**新技四捻**」の『シライ』を誕生させました。

一方、80歳の冒険家・三浦雄一郎さんは、世界最高峰のエベレストに「**雄峰果敢**」に登頂し、史上最高齢記録を4歳更新しました。その体力と精神力には脱帽です。

今季の球界では、「ボールがよく飛ぶ」なんて噂が…。それもそのはず、なんとこっそり「**飛球損投**」していたとは！この騒動には驚きましたが、選手たちのプレーは素晴らしかった！マー君こと楽天の田中将大投手が「**快投連将**」でチームを日本一に導き、ヤクルトのバレンティン外野手は本塁打の「**王超記録**」を達成、日本ハムのルーキー・大谷翔平選手は「**一投打人**」に挑戦し、球界を大いに盛り上げてくれました。

海を渡った日本人選手も輝いています。米大リーグ・レッドソックスの上原浩治投手は、抑えの「**快投浩治**」でワールドシリーズ制覇に貢献し、日本人初の胴上げ投手になりました。

そして、これぞ美しき師弟愛！長嶋茂雄・松井秀喜両氏の国民栄誉賞「**打振受賞**」には、日本中が拍手喝采しました。

日本の“富士”が世界文化遺産に「**富士登産**」されました！山頂からのご来光は、言い表せないほど美しいといえます。その輝きに負けぬほど、来る2014年が皆さまにとって幸せに満ちた素晴らしい1年になりますように――

以上

◆◇◆ 優秀作品10編 ◆◇◆

(敬称略・順不同)

いつとうこん
何時答今
(異口同音)

予備校講師、林修先生の「いつやるか？今でしょ！」のCMが話題。

愛知県・杉浦 雅章 (43歳) 神奈川県・川瀬 貴志男 (41歳)

じえじえひび
jj日日
(是是非非)

朝ドラ「あまちゃん」が広い世代で大ブーム。
放送終了前から「あまロス」の心配までも。

兵庫県・市川 博康 (58歳) 京都府・吉岡 正博 (57歳)
東京都・中村 哲也 (52歳)

ばいばいはんじょう
倍倍繁盛
(商売繁昌)

ドラマ「半沢直樹」の「倍返し」が大ブームに。

神奈川県・内河 裕信 (54歳)

いしんでんしん
移神殿新
(以心伝心)

20年ぶりの伊勢神宮式年遷宮と、60年ぶりの出雲大社平成の大遷宮。

神奈川県・改発 利佳 (48歳) 大阪府・渡辺 廣之 (60歳)
青森県・池田 毅 (60歳)

せいむけいさつ
声務警察
(「西部警察」)

「DJポリス」の活躍。

秋田県・佐藤 和広 (55歳)

どうこしゃしん
凍庫写寝
(投稿写真)

悪ふざけ写真のネット投稿が頻発。店側はその対応におわれた。

京都府・吉岡 正博 (57歳)

にせえび
似せ海老
(伊勢海老)

偽りありのレストランメニューが批判的的に。

大阪府・渡辺 廣之 (60歳)

どこもさんせん
何処参戦
(孟母三遷)

NTTドコモが「iPhone」販売競争に参戦。

京都府・堀井 弘 (53歳) 東京都・小杉 賢一 (56歳)

けしきもうろう
景色朦朧
(意識朦朧)

黄砂に加えてPM2.5も…。街はかすんでしまった。

大阪府・石橋 直子 (71歳)

ゆうほうかかん
雄峰果敢
(勇猛果敢)

三浦雄一郎さんが、史上最高齢の80歳でエベレスト登頂に成功。

青森県・池田 毅 (60歳)

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
政 治	選挙解捻 せんきよかいねん	選挙によって、「ねじれ」が解消された。 東京都・長縄 健吾 (49歳)	免許皆伝
	選網解開 せんもうかいかい	ネット選挙解禁。 神奈川県・大森 俊二 (80歳)	天網恢恢
	自番成備 じばんせいび	「マイナンバー法」が成立。 神奈川県・大森 俊二 (80歳)	地盤整備
	資支援孫 ししえんそん	祖父母から孫への教育資金贈与、1,500万円まで非課税に。 愛知県・菊入 元久 (77歳)	子子孫孫
	三矢晋明 さんししんめい	安倍内閣、「三本の矢」政策で好評。 北海道・寺田 昭夫 (68歳)	山紫水明
経 済	騰昇株価 とうしょうかぶか	為替相場が円安方向で株価が急上昇した。 神奈川県・大森 俊二 (80歳) 神奈川県・山口 則彦 (47歳)	東証株価
	緩金総裁 かんこんそうさい	黒田日銀総裁、異次元の金融緩和。 京都府・堀井 弘 (53歳) 山口県・原野 秀敏 (41歳)	冠婚葬祭
	関税超枠 かんぜいちょうわく	TPP交渉に初参加。 大阪府・中西 英行 (41歳)	勸善懲惡
	投資満満 とうしまんまん	「NISA」導入を控え、投資にやる気満々ムード。 兵庫県・三浦 裕子 (33歳)	闘志満満
	電子薬販 でんしやくはん	医薬品のネット販売がスタート。 大阪府・山野 大輔 (38歳)	切齒扼腕
	阪客万来 はんきやくばんらい	「グランフロント大阪」・「あべのハルカス」が大阪に誕生。 愛知県・古川 明夫 (65歳)	千客万来
	億円超魚 おくえんちようぎょ	東京築地市場の初競りで、クロマグロが1億5,540万円で購入された。 愛知県・菊入 元久 (77歳)	億万長者
社 会	危雨増大 きうぞうだい	各地で「これまでに経験したことのない雨」や「数十年に一度の大雨」が降り、水害が頻発。 山口県・原野 秀敏 (41歳)	氣宇壮大
	風竜渦惨 ふうりゅうかざん	今年は竜巻による被害も多く発生。 神奈川県・木本 英男 (52歳)	風林火山

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
社 会	何食之店 かしょくのてん	食材の偽装表示が次々と明るみに。 東京都・山本 桂子 (50歳)	華燭之典
	風疹来甚 ふうしんらいじん	風疹が猛威をふるった。 愛知県・辻 紀子 (39歳) 兵庫県・清水 勇二 (41歳)	風神雷神
	黒影企業 こくえいきぎょう	「ブラック企業」が社会問題に。 山口県・原野 秀敏 (41歳) 千葉県・本郷 修 (53歳)	国営企業
	最高知温 さいこうちおん	高知県四万十市で最高気温の記録更新。我慢するしかありません。 愛知県・古川 明夫 (65歳)	最高気温
	四一度川 しわんどがわ	最高気温が、な、な、なんと41度！ 東京都・野本 とし夫 (62歳)	四万十川
	七星発進 しちせいほっしん	クルーズトレイン「ななつ星in九州」が運行開始。 愛知県・辻 紀子 (39歳) 大阪府・上田 繁樹 (41歳)	七転八起
	発射懊悩 はっしゃおうのう	飛んでいいのか、「イプシロン」は悩んだ。 広島県・岡本 育子 (51歳)	発車オーライ
国 際 情 勢	落下露石 らっかるうせき	ロシアに大きな隕石が落下した。 愛媛県・小泉 春菜 (27歳) 愛知県・古川 明夫 (65歳) 埼玉県・前田 隼平 (33歳) 神奈川県・吉野 健司 (58歳) 東京都・岩瀧 悦子 (53歳) 北海道・山重 真一 (58歳)	落花狼藉
	英子世酔 えいこせいすい	全世界が祝福したロイヤルベビー誕生。おめでとうございます！ 千葉県・岡本 真幸 (52歳) 兵庫県・藤井 真由美 (38歳)	栄枯盛衰
	衆電監視 しゅうでんかんし	アメリカの情報機関は、要人の電話などを盗聴していた。 愛知県・古川 明夫 (65歳)	衆人環視
文 化 ・ ス ポ ー ツ	見事東選 みごととうせん	2020年の五輪が東京に決まり、日本列島が歓喜に沸いた。 神奈川県・鈴木 正実 (56歳)	見事当選
	七年待東 しちねんまっとう	2020年の東京五輪まであと7年。 愛知県・後藤 章峰 (36歳)	七転八倒
	新技四捻 しんぎよんねん	体操の白井健三選手。世界大会初の床運動で4回ひねりを決め、 技に「シライ」の名前が付けられた。 愛媛県・森内 国宏 (42歳)	心機一転
	快投連将 かいとうれんま	登板したすべての公式戦で快投を見せた、楽天の田中マー君。 京都府・堀井 弘 (53歳) 北海道・寺田 昭夫 (68歳) 愛知県・松本 広宣 (52歳) 東京都・中村 哲也 (52歳)	快刀乱麻

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
文 化 ・ ス ポ ー ツ	一投打人 いっとうだじん	投手と打者の「二刀流」で大谷翔平選手デビュー。 千葉県・本郷 修 (53歳)	一網打尽
	王超記録 おうちょうきろく	ヤクルトのバレンティン選手が60本塁打を達成。 49年ぶりに本塁打記録を塗りかえた。 東京都・山本 桂子 (50歳)	王朝貴族
	快投浩治 かいとうこうじ	レッドソックスの上原浩治選手。クローザーとして見事なピッチング。 神奈川県・内河 裕信 (54歳)	解体工事
	飛球損投 ひきゅうそんとう	統一球の変更で投手受難。 京都府・堀井 弘 (53歳) 大阪府・原 隼 (75歳)	危急存亡
	打振受賞 ダブルじゅしょう	長嶋・松井両氏、国民栄誉賞をダブル受賞。 北海道・山重 真一 (58歳)	ダブル受賞
	超速高生 ちょうそくこうせい	短距離界に期待の高校生現る。 新潟県・橋立 英樹 (46歳)	超即効性
	富士登産 ふじとざん	富士山が念願の世界遺産に登録される。 愛知県・谷口 由美子 (41歳) 神奈川県・大森 俊二 (80歳)	富士登山
	顔面食博 がんめんくうパクツ	博愛のヒーロー「アンパンマン」の作者、やなせたかしさん死去。 東京都・野本 とし夫 (62歳)	顔面蒼白
流 行 ・ 芸 能	春樹多売 はるきたばい	文字どおりたくさん売れました。 神奈川県・丸橋 弥生 (40歳) 福岡県・富田 用介 (40歳)	薄利多売
	梨熊効果 りゆうこうか	「ふなっしー」・「くまモン」など、各地のゆるキャラが躍進。 地方活性化に期待も。 東京都・亀谷 誓一 (33歳)	流行歌
	油断最適 ゆだんさいてき	油で揚げない調理器、「ノンフライヤー」が大ヒット。 京都府・堀井 弘 (53歳) 山口県・西村 良樹 (50歳) 東京都・笹岡 聖人 (36歳) 大分県・利光 弘文 (61歳) 東京都・島立 隆男 (51歳)	油断大敵
	優駿ノ美 ゆうしゅんのび	宮崎駿氏が「風立ちぬ」を最後に引退を発表。優れた功績を残した。 愛知県・谷口 由美子 (41歳)	有終之美

審査員コメント

俵 万智 (歌人)

今年は流行語が、ここ近年のなかでは群を抜いて豊作でした。その影響もあってか、「^{じえじえひび}じえじえひび」「^{ばいばいはんじょう}倍倍繁盛」「^{いつとうこん}何時答今」など、流行語にからんだ作品に勢いを感じました。元の言葉を多くの人と共有できるのが楽しいですね。言葉を共有することは、心を共有することでもあります。

「答今」や「^{ゆうほうかかん}雄峰果敢」の「雄峰」、そして「^{せいむけいさつ}声務警察」の「声務」には、漢字ならではの、意味を凝縮する力を感じます。

「三遷」との同音異義を生かした「^{どこもさんせん}何処参戦」、さらには、読みをぴったり合わせて見事に内容を表現した「^{いしんでんしん}移神殿新」には唸られました。

「^{にせえび}似せ海老」、^{けしきもうろう}「景色朦朧」のように、シンプルで端的なものも、創作四字熟語本来の魅力にあふれています。「^{とうこしゃしん}凍庫写寝」は、もとの四字熟語との重なり具合が効いていますね。「じじ」「何処」「四一」「食博」「打振」「梨熊」などなど、新しい試みも多く、創作四字熟語の可能性は、まだまだあるなあと思いました。

月	主 な 出 来 事	作 品 例
1	<ul style="list-style-type: none"> ●築地の初競りで、大間産クロマグロが1億5,540万円の最高値 ●ダボス会議で、甘利経済再生担当相がアベノミクスによる経済再生を宣言 	億円超魚 (おくえんちょうぎょ) 三矢晋明 (さんししんめい)
2	<ul style="list-style-type: none"> ●微小粒子状物質「PM2.5」対策で、環境省が初会合 ●露・ウラル地方に隕石が落下 	景色朦朧 (けしきもうろう) 落下露石 (らつかろうせき)
3	<ul style="list-style-type: none"> ●安倍首相が環太平洋連携協定(TPP)交渉参加を正式表明 ●黒田総裁率いる日銀の新体制が発足。2%の物価上昇を目標 	関税超枠 (かんぜいちょうわく) 緩金総裁 (かんこんそうさい)
4	<ul style="list-style-type: none"> ●教育資金贈与の非課税制度がスタート ●村上春樹さんの新作小説が発売。発売7日目で100万部を突破 ●ネット選挙法成立。夏の参院選から適用 ●油を使わない調理家電、「ノンフライヤー」が発売 ●大阪駅北側に、大型複合施設「グランフロント大阪」が開業 ●陸上男子100mで、高校生の桐生祥秀選手が10秒01を記録 ●少額投資非課税制度の愛称が「NISA(ニーサ)」に決定 	資支援孫 (ししえんそん) 春樹多売 (はるきたばい) 選網解開 (せんもうかいかい) 油断最適 (ゆだんさいてき) 阪客万来 (はんきゃくばんらい) 超速高生 (ちょうそくこうせい) 投資満満 (とうしまんまん)
5	<ul style="list-style-type: none"> ●長嶋茂雄、松井秀喜両氏に国民栄誉賞授与 ●日経平均株価が急騰。一時、1万5,900円の高値に ●冒険家・三浦雄一郎さんが史上最高齢の80歳でエベレスト登頂に成功 ●プロ野球・日本ハムの大谷翔平選手が、投手と野手の「二刀流」デビュー ●マイナンバー法成立。税・年金を2016年から一元管理 	打振受賞 (ダブルじゅしょう) 騰昇株価 (とうしょうかぶか) 雄峰果敢 (ゆうほうかかん) 一投打人 (いっとうだじん) 自番成備 (じばんせいび)
6	<ul style="list-style-type: none"> ●市販薬のネット販売、政府が原則解禁の方針へ ●日本野球機構、今季からの統一球変更を認める ●サッカーW杯出場決定後の渋谷の「DJポリス」に警視総監賞を授与 ●風疹が流行。患者数は1万人超えに ●「富士山」が世界文化遺産に登録決定。景勝地「三保松原」も 	電子薬販 (でんしやくはん) 飛球損投 (ひきゅうそんとう) 声務警察 (せいむけいさつ) 風疹来甚 (ふうしんらいじん) 富士登産 (ふじとざん)
7	<ul style="list-style-type: none"> ●参議院選挙で自民党が大勝利、「ねじれ国会」が解消 ●英・キャサリン妃がロイヤルベビーを出産 ●全国の弁護士が連携し「ブラック企業被害対策弁護団」を結成 	選挙解捻 (せんきょかいねん) 英子世酔 (えいこせいすい) 黒影企業 (こくえいきぎょう)
8	<ul style="list-style-type: none"> ●「ご当地キャラ総選挙」で、千葉県船橋市の「ふなっしー」が優勝 ●高知県四万十市で、国内観測史上最高気温41.0度を記録 ●アルバイト店員による悪ふざけ写真投稿で店舗閉店 ●固体燃料ロケット「イプシロン」、直前に打ち上げ中止(9月に成功) 	梨熊効果 (りゆうこうか) 最高知温 (さいこうちおん) 四一度川 (しわんどがわ) 凍庫写寝 (とうこしゃしん) 発射懊悩 (はっしゃおうのう)
9	<ul style="list-style-type: none"> ●竜巻(スーパーセル)が埼玉県と千葉県で発生 ●アニメ映画の宮崎駿監督が引退を発表。「風立ちぬ」が最後の作品に ●2020年五輪、東京開催が決定 ●プロ野球・ヤクルトのバレンティン選手が年間本塁打新記録を更新 ●台風18号列島縦断。福井・京都・滋賀に初の大雨特別警報 ●NTTドコモが「iPhone」の販売を開始 ●TVドラマ「半沢直樹」放送終了。視聴率40%超え ●NHK朝ドラ「あまちゃん」放送終了。ロケ地は観光客が大幅増に 	風竜渦巻 (ふうりゅうかざん) 優駿ノ美 (ゆうしゅんのび) 見事東選 (みごととうせん) 七年待東 (しちねんまつとう) 王超記録 (おうちょうきろく) 危雨増大 (きうぞうだい) 何処参戦 (どこもさんせん) 倍倍繁盛 (ばいばいはんじょう) j j 日日 (じえじえひび)
10	<ul style="list-style-type: none"> ●体操・白井健三選手の床運動の新技が「シライ」と命名 ●伊勢神宮で式年遷宮の「遷御の儀」が終了 ●プロ野球・楽天の田中将大投手が史上初の開幕24連勝達成 ●「アンパンマン」作者の漫画家やなせたかしさんが逝去 ●豪華寝台列車「ななつ星in九州」が運行開始 ●米情報機関による各国要人の通話盗聴疑惑が浮上 ●米大リーグ・上原浩治投手、ワールドシリーズで日本人初の胴上げ投手に 	新技四捻 (しんぎよんねん) 移神殿新 (いしんでんしん) 快投連将 (かいとうれんま) 顔面食博 (がめんくうパクツ) 七星発進 (しちせいはいしん) 衆電監視 (しゅうでんかんし) 快投浩治 (かいとうこうじ)
11	<ul style="list-style-type: none"> ●食材偽装問題が全国に拡大 	何食之店 (かしょくのてん) 似せ海老 (にせえび)
12	<ul style="list-style-type: none"> ●予備校講師、林修さんの「今でしょ！」が新語・流行語大賞受賞 	何時答今 (いつとうこん)